

希望する高校を主体的に選択できる制度をめざして

～京都市・乙訓地域公立高校の新しい教育制度～

公立高校の特色ある学校づくりをさらに推進し、生徒一人一人の進路希望や学習ニーズにより柔軟に对应されるようにするとともに、中学生が自らのキャリア形成に向けて、目的意識を持って、これまで以上に主体的に高校を選択できるよう、新しい教育制度を構築します。

☆新制度の概要

- 1 全日制普通科の教育制度 ～「類・類型制度」の廃止～
普通科第Ⅰ類と第Ⅱ類を廃し、「普通科」として一本化
志願時ではなく、合格後に、希望や学力状況に応じてコースを選択
体育などの普通科第Ⅲ類は、普通科の中の専門的なコースとして存続
- 2 通学区域 ～通学圏の統合～
普通科の通学区域を京都市北・南通学圏(2通学圏)から1通学圏に統合
21校から選択が可能
- 3 入学者選抜制度
 - (1) 受検機会の複数化
これまでどおり複数の受検機会を確保
前期選抜(2月中旬)→中期選抜(3月上旬)→後期選抜(3月下旬) ※名称は仮称
 - (2) 前期選抜
現在2月に実施している、学科等によって異なっている選抜(推薦入学、特色選抜、適性検査)を廃止し、「前期選抜」として一本化
(特別入学者選抜の枠組は残し、原則これまでと同じ方式で実施)
 - (3) 中期選抜 ～総合選抜制度の廃止～
現在、普通科第Ⅰ類で実施している「総合選抜制度」を廃止し、各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」を導入
 - (4) 後期選抜
前期選抜及び中期選抜を実施した後、なお相当の欠員がある場合に実施
- 4 新制度の実施時期
平成26年度入学者選抜(現在の中学校2年生対象)から実施
- 5 その他
 - ・新制度の詳細については、入学者選抜要項で後日決定します。
 - ・他の通学圏にも共通することについては、併せて見直しを行います。

<問い合わせ先> 京都府教育庁指導部(高校教育課 企画推進担当) 直通 (075) 414-5853
京都市教育委員会事務局(指導部(学校指導課 高校教育担当) 直通 (075) 222-3811

【京都市・乙訓地域における入学者選抜制度の概要】

1 前期選抜

現在、学科等によって異なっている選抜（推薦入学、特色選抜、適性検査）を廃止し、「前期選抜」として一本化（特別入学者選抜の枠組は残し、原則これまでどおり）

- 募集人数 ①普通科 : 募集定員の30% [現行：15%]
②職業に関する専門学科 : 募集定員の70% [現行：50%]
③現「適性検査」実施学科等 : 募集定員の100%

- 選抜方法 ①各高校が学科ごとに合格者を決定する単独選抜制度
②中学校からの報告書を必須。それに加えて、学力検査、面接、作文・小論文、実技、活動実績報告書の検査項目を組み合わせた A～Cの3つの方式を設定し、各高校の裁量により実施。配点比率は事前に明示

A方式 (学力検査実施)	共通学力検査(国・数・英)または独自学力検査 作文・小論文、面接、報告書、活動実績報告書
B方式 (学力検査なし)	面接、作文・小論文、報告書、活動実績報告書
C方式 (学力検査と実技検査)	共通学力検査(国・数・英)または独自学力検査 実技検査、作文・小論文、面接、報告書、活動実績報告書

2 中期選抜

現行の普通科第Ⅰ類で実施している「総合選抜制度」を廃止し、各高校が学科ごとに合格者を決定する「単独選抜制度」を導入

- 選抜方法 ①学科を問わず、統一した方式で実施
②第1志望内で2校(学科)まで順位をつけて志願可能。2段階で選抜
→各校の募集人数のうち、まず第1順位で志願した者の中から90%まで合格者を決定し、次に、第2順位志願者と合わせて残り10%の合格者を決定
③第2志望まで志願可能。第1志望者の選抜後、なお欠員がある高校においては、第2志望者で合格者を決定
(第1志望と合わせて3校(学科)まで志願可能)
④共通の学力検査(5教科)と報告書により総合的に判断して選抜

3 後期選抜

前期選抜及び中期選抜を実施した後、なお相当の欠員がある場合に実施
共通の学力検査と報告書、面接により総合的に判断して選抜

[今後の予定]

- ・新制度の内容をまとめたリーフレットや京都市・乙訓地域の各高校の概要や普通科に設置するコースの内容等をまとめた冊子を作成し、2月中に保護者等に配布予定
- ・中学生や保護者等対象の説明会を2月下旬から年度内に複数回開催予定
[日程等は中学校を通じてお知らせ]
- ・各高校の「前期選抜」の詳細(検査項目の配点比率等)は、4月中を目途に公表予定

[別紙] 一中期選抜の選抜方法一

[志願方法の例]

第1志望		第2志望
第1順位	第2順位	
A高校 普通科	B高校 普通科	C高校 〇〇科

A 高校 普通科 志願者

